

だんだん

隠岐広域連合立 隠岐島前病院
<http://fish.miracle.ne.jp/dozen/>

今回の内容

- 1.はじめに
- 2.患者さんとの出会い
- 3.1年目で島前病院にきて
- 4.助手便り
- 5.口腔ケア
- 6.イカの町西ノ島
- 7.おわりに



師長さんお手製
レアチーズケーキ

1. はじめに

師長 松浦幸子

皆さま大変お久しぶりです。

このたび「だんだん 3号」にやっと到達することができました。私たちにとっての一年はあっという間の一年でした。でも気づいたら一年も経っていたなんて、本当に申し訳ありません。

あれから一年・・・

隠岐島前病院は看護部ブログをきっかけに、少しずつ若い人達が集まっています。“離島医療を担う総合ナースへの挑戦”として看護雑誌や新聞、テレビで紹介されました。この影響もあり、今年も大勢の学生さんたちが地域医療、看護体験におとずれてくれました。体験を終え気持ち新たに元気に学生生活に復帰していることを聞き何よりうれしく思っています。

そして、当院の新しいメンバーはこの地に身を下し自分のやりたい仕事(看護師像)に向かってそれぞれ挑戦中です。迷い、悩みがないわけではないと思います。メンバー、スタッフ、皆様に支えられ公私ともに充実させながら、この「だんだん」で看護の力を報告できることをお楽しみとして下さいますよう、今後への期待としていただきますよう、どうかよろしく願いいたします。





2. 患者さんとの出会い

看護師 家石 健志

隠岐島前病院に入院して、退院した患者さんの話を聞きに地徳岩夫・和枝さん夫婦の家へ行ってきました。二人とも大病を乗り越えて同じ時期に退院されました。退院の際は高齢の御夫婦二人の生活であり、本人・当院スタッフも不安や心配でいっぱいでした。

家は高台にあり、スロープもないため、家から外に出るのは大変だそうです。病院への通院は近所のタクシーを頼み運転手さんが家まで付き添ってくれるから大丈夫と話されていましたが、ゴミだしなど日常生活は負担が大きいです。

和枝さんは岩夫さんがディサービスに行っている時は、自分のペースで家の事をしたりヘルパーさんに手伝ってもらったり家の事も自分でポツポツしている様子でした。「夫婦げんかはよくするよ。」と話されていましたが、お互いに仲睦まじく生活している様子でした。

退院後も、ケア会議(当院のスタッフ・ケアマネ・施設・在宅支援センター・診療所・福祉用具などのスタッフが月2回集まる会議)を開き、在宅での生活が問題なく送れるように支援をしています。それだけではなく、スタッフ一人一人が外来などで会った時はしっかり話を聞き、信頼関係を築いています。

隠岐島前病院は夫婦にとっては大きい病院では出来ない、スタッフに愚痴を言ったり、スタッフに会えるのを楽しみにしているような、ただ病気を治療するだけではない病院だと思います。

今回地徳さんの家に訪問させていただききっかけになったのは、外来で和枝さんと話をする機会が増え、地徳さんの畑を貸してもらい、休みの日に伺うようになったのがきっかけでした。

日々の仕事に追われ、当初の目的である島の文化や生活を通じて看護を学ぶという事を忘れかけていました。しかし、地徳さんとお逢ったことで、患者さんとしてだけではなく、地域住民としての生活を垣間見ることができました。この出逢いを大切にこれから出逢う人、出逢ってきた人との関係も大切にしながら、一期一会の精神をもち日々励みたいと思います。





3. 1年目で島前病院に来て

看護師 原 佳奈子

島前病院は、私にとっての初めての職場です。大体、1年目で離島の病院に就職したという周りから驚かれます。しかし、学生で実習に来た時から離島に対する不安は感じておらず、就職した今も先輩方や患者さんに支えられながら穏やかに過ごしています。

島前病院は3つの小さな島の拠点病院です。実習に来てみて、見た感じは本土の中山間地の小さな病院と変わらないという印象を受けました。私はもともと田舎育ちで将来は県内の地域の病院で働きたいと思っており、島前病院は自分の抱いていた病院のイメージとそっくりでした。島の出身ではないけれど、自分の故郷の風景に似ていて、見知らぬ土地だったはずなのにとても落ち着きます。

さらに働いてみて感じるのは、島の住民の人柄を通してこちらも心が穏やかでいられるという事です。もちろん医療現場なのでそれなりのプレッシャーもありますが、心豊かな人たちに囲まれて支えられていると実感しています。自分の看護技術・質も勿論だが、さらに人間性に磨いて、患者さんへのケアで応えたいと思います。



4. 助手便り

看護助手 足立 瑞子

島前病院の病棟では日々「助手さ〜ん」という声が聞こえてきます。私たち看護助手の事です。看護師とは違い、一般の方たちには耳慣れない職業かもしれません。簡単に説明すると(島前病院限定ですが・・・)入浴介助・食事介助・オムツ交換・・・挙げればキリがないのですが、高齢者の多い病院の中で介護業務を主に奮闘中の毎日です。

日々、業務に追われながらも患者さんに一番身近な存在として、やりがいを感じながら働いています。身近ゆえに、つぶやきや不満を言われやすい存在なので大変な時もありますが、患者さんの笑顔(爆笑に近い!)と、ご家族からの感謝の言葉など、うれしい事もたくさんあります。

島前病院は、院長が「患者さんのためならやっていいよ!」という考えの方なので、他のスタッフも看護助手の意見を取り入れてくれています。

なにかと避けられがちな介護職ですが、チャレンジしても絶対に損はないです。中に入ってみなくては分からない楽しいこともたくさんあります。特に隠岐島前病院の看護助手は日々笑顔の絶えない毎日です。

まだまだお伝えしたいことはたくさんありますが、文字数限定なので(笑)またの機会に・・・。





5. 口腔ケア

高齢化率38%を越える西ノ島(2005年全国平均20.1%)、当院での入院患者も高齢者が多く、その中でも誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)の診断で入院を繰り返す患者さんが多い状況でした。そんな折、JAPAN HEARTのつながりで出会った山梨県の牧丘病院。この病院は口腔ケアに力を入れていることを知り、昨年6月に西ノ島まで来ていただき、勉強会を行いました。

それからは口腔ケアチームを発足し、入院患者は勿論、在宅の患者さんにも口腔ケアの取り組みを広めてきました。それから1年、更なるパワーアップをと思い、今年5月に牧丘病院で研修をさせてもらう機会を貰いました。研修では、歯科衛生士実施の口腔ケアの見学や牧丘病院スタッフの他、近隣の歯科医や歯科衛生士が参加する歯科診療・口腔ケアミーティングを見学させていただきました。また、自分たちが困っていることについてアドバイスを貰うことができ、患者さんへのケアの充実に努めています。

今後の課題は嚥下(えんげ)リハビリテーションの充実です。当院にはST(言語療法士)がいません。でも心強いOT(作業療法士)が3名居ます。OTと看護師が連携・協力しながら嚥下リハを行っています。可能な限り摂食したいという患者さんがほとんどです。その想いを叶えられるようケアにあたっています。

(写真は牧岡病院での往診の様子と、患者さんの自宅です)



6. イカの町西ノ島

夏の時期、夕方になると一斉にイカ釣り漁船が出漁し、夜には漁火がみられます。

そして、次の日になると、各家庭でイカが干されている風景を目にします。

また島には由良比女(ゆらひめ)神社というものがあり、以前は神社前の浜辺にイカの大群が押し寄せていたそうです。その数は数万を越えていたといわれています。西ノ島にとってイカはマンホールの図柄に、高速船レインボーにも、バスにも様々な所で目にし、生活と密着したものなのです。

病院にとってもイカは密着したものです。お母さんナースの中には仕事が終わるとイカを釣りに出かける人もいます。お昼の時間にイカ刺しが並ぶ事があります。イカの干物を作る若者Nsもいます。夜な夜なイカ釣りをしているOT(作業療法士)もいます。

これからの時期はドウタリといって最大20Kgにもなるイカがやってきます。いつお目にかかれるのか、どうやって食べようかと、今から楽しみです。



去年捕れたドウタリです





7. おわりに・・・

この小さな島の小さな病院に次々にやってくる患者さん。性格も、家庭環境も病気もさまざまです。ここは総合医療の最先端。本土や隣の島の大きな病院まで行くには時間がかかります。患者さんも家族も、できれば近くでみてもらいたい。それに応えるべく、みんなで一丸となって治療に当たります。退院するまでではなく、ここでは退院してからも患者さんに関わっていきます。島が大きな家族だと私は思っています。自分の家族のように、一人一人とじっくり、ゆっくり関わられるのが隠岐島前病院の魅力です。

病院スタッフは仕事も遊びも一生懸命。一生懸命な人ほど輝いている人はいないと思います。大きな家族のみんなが輝いて笑ってしてくれるから、私もがんばれる。毎日元気をもらっています。

島前内回覧

看護師さん、看護助手さん、薬剤師さん急募

隠岐島前病院は、島民のみなさまが安心して暮らせるように日々の外来はもちろんのこと、島前地区では唯一入院できる設備を有しスタッフ一同精一杯頑張っているところです。

しかし、看護師をはじめとした医療スタッフの人材不足により今後の病院運営に大きな影響を及ぼすことが心配されます。

毎年、看護師・薬剤師等をはじめとした医療スタッフの公募は行っていますが、応募もなく、その対応策に苦慮しています。

隠岐島前病院は人材を探しています!!

あそこに、看護師の資格を持った人が住んでいる!!

〇〇さんちの息子さんは、
〇〇にいて薬剤師をしているが、今度こっちへ帰ってくるらしい



このような情報があれば、是非とも島前病院へご連絡いただけないでしょうか。よろしくお願ひします。

☆病院が探している人材

職 種	勤 務 時 間	備 考
看護師 (夜勤のできる方)	8:30~17:15	2交代勤務 正職員採用(准看護師資格の方でもOKです。)
	17:00~9:00	
看護助手(夜勤のできる方)	同上	嘱託採用(資格不問)
薬剤師	8:30~17:15	正職員採用

※看護師については、日勤のみ勤務希望の方であっても、一度お問合せ下さい。
※面接にて採用を決定します。



正職員(看護師・准看護師・薬剤師)採用となった方には、就業一時金36万円と移転費用(上限15万円)を支給します。

隠岐島前病院 事務局

電話 : 7-8211

FAX : 7-8702

隠岐広域連合立 隠岐島前病院

〒648-0303

島根県隠岐郡西ノ島大字美田 2071-1

電話番号 08514-7-8211

Fax 番号 08514-7-8702

mail (看護部) ki.ns.dozen@gmail.com

